

## 令和4年度第2回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和4年10月27日(木)
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後2時50分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光  
＜北秋田市教育委員会＞  
教育長 佐藤 昭洋  
委員 佐藤 正俊  
委員 佐藤 英樹  
委員 蒔苗 隆  
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞  
教育次長 小坂 竜也 総務課総務係長(書記) 工藤 留理子  
北部学校給食センター所長 笹代 孝徳  
学校教育課長 山田 理 義務教育係長 藤田 学  
生涯学習課長 小塚 重光 生涯学習係長 中島 礼美  
スポーツ振興課長 野呂 雅弘  
世界遺産推進係長 榎本 剛治  
スポーツ係長 松橋 康浩
7. 案件 (1) 令和4年度主な教育施策の実施状況(上半期)について  
(2) 意見交換

## 8. 会議録

小坂教育次長	<p>ただいまから、令和4年度第2回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 はじめに、津谷市長からご挨拶をお願いします。</p>
津谷市長	<p>令和4年度の第2回北秋田市総合教育会議の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>教育委員の皆様には日頃より教育行政の推進につきまして、多大なるご尽力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げます。</p> <p>当市では、8月の大雨によりまして、住宅の床上床下浸水のほか、農作物の冠水や農業用施設及び道路等公共土木施設などの甚大な被害が発生いたしました。幸いにも、教育関連施設の被害はありませんでしたが、被災されました皆様方の生活再建や災害復旧に向けて、一日でも早く市民が安心安全に過ごすことができるよう社会基盤や生業の復興・復旧に取り組んでいるところでございます。</p> <p>さて、コロナ禍に見舞われまして3年目となりました。この間、ワクチン接種などの感染症予防対策や経済対策など、市民生活や地域経済を支えるため様々な対策を講じてまいりました。また、全国的に物価高騰が続く中、当市におきましても様々な緊急経済対策を実施いたしておりますが、学校給食においても、児童生徒にバランスのとれた食事を提供するため、2学期以降の給食費助成を行うなど保護者の負担が増えないように努めているところであります。今後もウィズコロナの状況がまだまだ続くことが予想されますが、当市では9月以降、縄文まつりをはじめ100キロチャレンジマラソン、産業祭、文化祭等の各行事を実施しており、引き続き感染防止対策を適切に行いながら、社会経済活動もしっかりと進めていくことが必要と考えているところであります。</p> <p>本日の会議は、各種事業の進捗状況が中心となりますが、今後の教育施策について委員の皆様からのご提言を賜りますようお願い申し上げまして、私からの開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。 続きまして、佐藤教育長から挨拶をお願いします。</p>
佐藤教育長	<p>市長からお話がありましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症への対策が求められて、特に9月の中旬以降は子どもたちへの感染も広がりまして、学級閉鎖や学年閉鎖といった対応を取らざるを得ない学校もございました。しかしながら、運動会、体育大会、修学旅行、学習発表会、学校祭、この日曜日の鷹巢中の学校祭で全て終了いたしました。行事の延期や規模を縮小しての実施、観客を入れ替えての感染症対策など、これまで経験したことのない対応も求められまして、地域の実情に合わせた各校の創意工夫には感謝しております。保護者やご家族をはじめ地域の皆様にもご不便</p>

佐藤教育長	<p>をおかけしておりますけれども、ご理解いただき進めることが出来ていると感謝しております。</p> <p>さて、今年度の主要教育施策の実施状況については、この後、各課長から報告させますが、教育委員会主催の行事は新型コロナウイルス感染症への対策を講じ、昨年度に比べて大方実施することができておりますが、中には中止としたり規模を縮小したりしたものもありますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>結びとなりますが本日の会議の中で、新型コロナウイルス感染症への対策も含めた今後の方向性についてご意見をいただき、それを踏まえ、来年度の計画に反映できるよう検討して参りたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは案件に入らせていただきます。北秋田市総合教育会議運営要綱の規定によりまして、議長は市長が行うことになっておりますので、市長に案件の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
津谷市長	<p>それでは要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>初めに、案件の（１）北秋田市教育大綱に基づく令和４年度主要教育施策の実施状況について、各担当課長から、基本方針と目標ごとに説明をお願いいたします。</p> <p>はじめに、学校教育関係について、学校教育課長、総務係長からお願ひします。</p>
山田学校教育課長 工藤総務係長	<p>&lt;学校教育関係 説明&gt;</p>
津谷市長	<p>ただ今の説明について、皆さんから何かご意見、ご質問等あれば伺いたいと思いますのでよろしくお願ひします。</p>
藤本委員	<p>今年度の学校訪問については、（前後期に）分散した形でゆとりのある日程を組んでいただき、私自身もゆとりを持って各学校に伺うことができました。どの学校でも、先生方は子どもたちとの対話を大切にされており、マスクをしている中でも、先生たちははっきりした口調で、抑揚に注意して子どもたちに伝える工夫をされていることがよく分かりました。</p> <p>また、ICT活用では、子どもたち一人ひとりがタブレットに自分の考えを記すと、先生の手元で一括して分かるようになっていて、自分から積極的に挙手するのが苦手な子どもたちの考えも先生が分かることができ、発表する機会に繋がっている様子も見ることができて良かったと思ひました。先生の美しい板書や、黒板に自分の考えを書き込んでいく授業も見させていただきましたが、そういったこととのバランスもとても良かったと思ひました。小学６年生の息子も予定どおり修学旅行で函館に行かせていただきましたが、先生方が夏休み中にもいろんなことを想定して話し合</p>

藤本委員	<p>いを重ねてくださったおかげで、予定どおり行くことができたのだと思いました。旅行から帰ってきて（自宅）待機の期間は、タブレットを持ち帰って健康観察や修学旅行の振り返りを、（家庭で）オンラインの体験をすることに繋がって良かったと思いました。</p> <p>最後に一つ要望ですが、中学校を訪問した時にスラックスをはいている女子生徒がいて、先生からの説明が「LGBTQだからはいている」、といった主旨に聞こえました。高校3年生の娘の学校でも10月からスラックスが採用されましたが、その際に特に申し込みの理由などを聞かれることもなく、希望があれば採寸に行って購入してください、という対応でした。ですから、中学生がスラックスを着用することに関しても、LGBTQだからという理由が結び付いてしまうと、かえって居心地が悪くなるのではないかと心配してしまいます。選択肢の一つとして、選択肢が増えるというよう示し方をしていただきたいと感じました。</p>
山田学校教育課長	<p>藤本委員の杞憂していることが起きないように、また現況も確認しつつ、スラックスを着用するということが誤解を生んだり、差別意識に繋がらないように校長先生や生徒指導主事の先生、校則も含めてしっかりと伝えていかなければならないと、今お話しを伺って改めて感じたところです。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、次に生涯学習の方に移らせていただきます。生涯学習課長お願いします。</p>
小塚生涯学習課長	<p>&lt;生涯学習関係 説明&gt;</p>
津谷市長	<p>それではただいまの説明につきまして、ご意見ご質問をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
蒔苗委員	<p>伊勢堂岱遺跡のXR化とは、具体的にはどういったことをやるのでしょうか。</p>
榎本世界遺産推進係長	<p>XRとはクロスリアリティという言葉なのですが、最近ではバーチャルリアティーですとかパソコン上で遺跡を360度見られるような技術がありますので、そういった新しい技術を活用して、北秋田市に来なくても遠隔地で遺跡の概要をインターネット上で知ることができたり、出土品を3D化して細かいところまで観察できるとか、そういったシステムをインターネット上や縄文館で見られるように整備しております。</p>
蒔苗委員	<p>そのソフトは誰が作るのですか。</p>
榎本世界遺産推進係長	<p>東京の会社に制作を委託しまして、現在進行しているところです。</p>

蒔苗委員	委託先は、遺跡に関して精通している会社ですか。
榎本世界遺産推進係長	委託先は大日本印刷㈱でして、日本のみならずフランスなどにも同様のシステムを納入しております。そういった精通している会社をお願いしてこの事業を円滑に進めております。
蒔苗委員	(インターネット上で) あまり詳しく分かると、(現地に) 来る意欲がなくなってしまうのではないのでしょうか。そういった心配はありませんか。
小塚生涯学習課長	そもそもの導入のきっかけになったのが、冬場は現地に行っても(遺跡を) 見ることができないということを何とか解消したい、という思いからでしたので、雪があっても遺跡のストーンサークルの上に立っているような仮想現実を与えたいということからVRということを考えました。その他にも、簡易的な状況で体験できる、それを呼び水にして現地に行ってみたい、このフルバージョンを縄文館で見たい、といった(遺跡に) 来るきっかけになるような活用を考えています。
蒔苗委員	上手く行ってほしいですね。
藤本委員	日頃、公民館の職員の方々は地区の自治会や婦人会など、地域との結びつきを大切にされていると思いますし、学校運営協議会にも公民館の職員が入ったりしているので、今後高齢者大学の学生と小学生が講座を一緒にやる機会とか、なかなか小学校の中に入る機会がない、お孫さんが地元にはいない方々との交流など、喜ばれると思いますので、そういった繋がりを工夫していただきたいと思っています。
小塚生涯学習課長	子どもから高齢者まで一緒に学習していくというのが公民館事業だと思いますので、委員からご提案のあったように、今現在も行っていますがより一層学校と連携していきたいと考えております。
佐藤教育長	合川地区では合川中学校と公民館事業の合川ことぶき大学が結び付いていまして、中学生が高齢者と一緒に花壇の植栽活動をしており、藤本委員がおっしゃられたように、地元にも子どもも孫もいないというお年寄りや中学生が楽しく活動出来ているようです。高齢者大学の方々を中学校の卒業式に招待したりして、学校と繋がりをもってやっています。コロナ禍で招待できなかった時も、高齢者の方々がメッセージを寄せてくれて、そういった事例も参考にしながら他の公民館にも広がって行って、学校との繋がりができていければいいと思っています。
津谷市長	合川地区だけでなく、北秋田市全域に広がってくれるといいですね。
佐藤正俊委員	図書館利用についてです。立地条件から見ると、行きにくいなと感じています。例え

佐藤正俊委員	<p>ば、皆さんに本を読んでもらう機会を与える移動図書館はどうですか。</p>
小塚生涯学習課長	<p>移動図書館ではないですが、移動文庫という形で公民館や児童館、市民病院の方にも本を置いておいて、定期的に内容を変えています。</p>
佐藤正俊委員	<p>大変良い取り組みだと思いますが、コムコムは多くの市民の方々が利用しており、高校生も大勢2階で勉強しています。環境的に大変良い所だと思いますので、移動文庫を置いておいてもらうといろいろな方々が利用しやすいのではないかと思います。文化会館まで行くよりも、街中を歩いてコムコムに来て図書を利用するというのが一つの良い方法ではないかと感じましたので、考えてほしいと思います。</p>
	<p>もう一点、文化財保護についてです。文化財施設はたくさんありますが、施設の中はきちんと整理整頓されていますが、例えば旧長岐邸でいうと庭の草の背丈が伸びている、伊勢堂岱遺跡だと階段が朽ちている、迎える側としてきちんと気を配ることが大事ではないかと感じました。そういったところを担当がよく見て、迎入れる体制をとってほしいと感じました。</p>
小塚生涯学習課長	<p>コムコムへの図書配置についてですが、こちらのPR不足で周知できていなかったと反省しております。スペースの関係でそれほどボリュームはありませんが、移動文庫はコムコムの2階にも置いております。</p>
	<p>文化財施設については、草刈りはがんばっているのですが追いついていないところもあるかもしれません。今一度点検したいと思います。伊勢堂岱遺跡の通路については、令和5年度に整備するという事で進めております。</p>
津谷市長	<p>環境整備について、佐藤正俊委員からお話ありましたが、予算が付いたからやるというのではなく、管理している担当が普段から目を配ることが重要であり、草が伸びていて、自分が客の立場であればどう思うか、気持ちの問題だと思います。移動文庫も同じで、コムコムが開館してからずっと同じ本が置かれているのではないか。今日から1カ月間、きたあきた読書まつりも始まったことだし、こういった機会に本の見直しをするとか、普段皆さんが考えてくれていることを活かしていかなければ、ただやればいいというのではなく、どう活かすかという気持ちを持たなければいけない。厳しい言い方になってしまいますが、担当にはよろしくお願ひしたいと思います。</p>
佐藤英樹委員	<p>先日の伊勢堂岱遺跡のイベント最終日に、見学に行っていました。前回、教育委員の見学の際は中嶋館長が遺跡を説明してくれましたが、今回はどなたが説明してくれるのか期待して行きました。(ガイド) 本人の説明では「一番縄文人に近い、私、清水が案内します」ということで、遺跡の価値や歴史もよく分かったのですが、個人のコメントを入れて、1時間という時間を大変楽しく過ごしました。子どもがガイドするのも年配の方がガイドするのも、外国の方が来た時でも、ガイドの力というのは非常に大きいということを感じてきましたので、来場者がどんどん増えているようですので、今後</p>

佐藤英樹委員	<p>もリピーターが増えるようになお一層の研修に励んでいただきたいと思います。</p> <p>その際、今日は（湯車川に）鮭が2匹来ているのでぜひ見てください、と教えていただいて、帰りに確認することができました。鮭の遡上についてもインターネット上で情報提供すると、この時期見学者も増えるのではないかと考えて帰って来たところですので、皆さんでがんばっていただきたいと思います。</p>
小塚生涯学習課長	<p>清水さんは、遺跡に対して思い入れのある方なので、通り一遍のガイドではなく、かなり深いところまで説明していただけます。鮭の遡上は私も見っていますが、なかなか動画として画像に収めるのが難しく、スマホで撮ってはみたのですが、編集して縄文館で映像を流すとか市のホームページにアップするとか考えたいと思います。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ続きまして、スポーツ振興関係について、スポーツ振興課長、お願いします。</p>
野呂スポーツ振興課長	<p>&lt;スポーツ振興関係 説明&gt;</p>
津谷市長	<p>それではただいまの説明につきまして、ご意見ご質問をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
佐藤正俊委員	<p>私たちの地域にとって雪は宝だと思います。阿仁のスキー場や湯口内スキー場、市はお金をかけて一生懸命やってくさっています。ピステンも毎年整備されています。湯口内スキー場は、子どもたちと一緒にいくと無料ですが、他は全部有料で毎日行くわけにはいきません。私はあきたリフレッシュ学園にありますが毎日連れて行きたいと思っています。（学園の周辺で）スノーモービルで引っ張って練習させていますが、雪に親しんでいる子どもたちを見れば、リフトに乗せて高い所から滑らせたいと思っています。子どもたちの利用を増やすために、できれば料金を割り引くような支援はできないものでしょうか。</p> <p>100キロチャレンジマラソン大会、とても良かったです。市内全地区が関わることができる、温かい気持ちにさせられる大きな行事です。以前教育委員会でもお話しましたが道路の片側は草ぼうぼうで、8月の水害で工事大変で手が回らないこともあったかもしれませんが、（草刈等道路の整備は）しっかりと対応した方が良いのではないかと思います。たくさんの選手とそれに付き添う人も含めると相当の人数が来てくれるはずで、迎える市として積極的に道路の整備をして、気持ちよく秋のロードレースを楽しんでほしいと感じました。ボランティアの皆さんはとても良くやっていました、市あげての大きな行事ですので今後も続けていけるように、草を刈って気持ちよく走れるようにお願いしたいと思います。</p>

野呂スポーツ振興課長	<p>スキー場の利用料は、薬師山スキー場については指定管理者や条例の関係もありますので、再度整理して、学校や教育で使うものについては考えていきたいと思います。</p> <p>100キロチャレンジマラソン大会の道路の草刈りについては、昨日実行委員会がありましてその話をしました。2年間大会が休止していたため、県の方で予算がつかなかったという事情があったそうです。また継続して開催するようであれば、予算を確保して道路の両側を草刈りできるようにしたいという回答があったようです。</p>
佐藤英樹委員	<p>100キロチャレンジマラソン大会とスポーツ少年団の支援についてお話しさせていただきます。スポーツ振興課長から100キロチャレンジマラソン大会の宿泊者数について、今年はまだのようですが3年前の第29回大会のデータをいただきました。仙北市内と北秋田市内に何名宿泊しているのか、調べていただいたところ、第29回大会は、角館・田沢湖方面が大会前日が433人、当日は173人、ゴール地点の北秋田地区、三種町等も含むようですが、前日は70人、当日は231人が宿泊しているとのこと。以前は地域の方々との交流会があつてそれを楽しみにして宿泊される方も多いと伺っていますので、宿泊を更に推進できるように、増やすことができるように、第30回大会は3年ぶりでしたが皆さん大変がんばっていただいて成功しましたので、来年に向けてPRしながら宿泊者を増やすようがんばっていただきたいと思います。</p> <p>それから、スポーツ少年団の支援についてですが、小学生は活動がスポ少に移管されてスポ少のがんばりが重要になってきていますが、中学校の部活動も地域に移行することで教育委員会としても課題になると思います。指導者あつての競技者だと思いますので、予算を手厚くして長いスパンで計画を立てて、今後指導者の育成を進めていただきたいと思います。</p>
野呂スポーツ振興課長	<p>100キロチャレンジマラソン大会の宿泊については、ランナーやこちらに来られる方々に事務局の方でPRをがんばってもらうように伝えたいと思います。</p> <p>スポーツ少年団の指導者については、他市町村では指導者の資格を取るための補助などがあるようですし、活動を継続するための補助ですとか検討させていただいて指導者を増やしていくようにしたいと思います。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、(1) 案件につきましては、これまでの進捗状況を確認させていただきましたし、委員の皆様から貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。今後の施策、これから実施する事業についても、十分に成果が達成できるように進めさせていただきます。</p> <p>続きまして(2)の意見交換に入らせていただきます。ただ今協議したことを踏まえて、令和5年度の教育施策に向けてご意見やご質問をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>



佐藤正俊委員	<p>国立市との交流事業です。一番最初に私たち教育委員が国立市に出向いて教育環境を視察させていただきました。とても狭い地域に教育環境が集約されていて、それと比べると北秋田市は恵まれている、広い土地に大きなグラウンドがあり、例えば合川小・中学校を見ると、小・中学校用の野球場、トラックと、そういった環境の中で子どもたちは育っています。これが普通だという気持ちで子どもたちは生活しているのではないかと思います。素晴らしい環境にいるということの日頃教える必要があると感じています。私たちが国立市へ行った時に、交流事業を今後どのように続けていくのかと思っていたのですが、先生方の交流ができているということは大変良いと感じました。国立市の先生が来て、今度は北秋田市の先生が国立市へ行くことはとても良い交流だと思います。ぜひ多くの先生方に国立市の環境を見ていただいて、小・中学校だけでなく大学構内にも行って環境を見てほしいと思いました。</p> <p>先ほど藤本委員が話した学校訪問です。子どもたちはとても良く育っていると思います。特に中学校の生徒はとても良いと思います。市外からどなたが来ても胸を張って見ていただくことができると誇りに思いました。これからも教育センターを中心に研修を深めて教育に向かってほしいと思います。</p>
山田学校教育課長	<p>ご期待に添えるようにがんばります。国立市の子どもたちからしてみれば雪国の暮らしとか、実際にそこに行ってみないと分からないこともありますが、子どもたち同士の交流もオンラインなどで積極的にやれないものかというお話もありましたので、その点についても今後検討していきたいと考えております。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p> <p>なければ、意見交換はここまでとさせていただきます。貴重なご意見をいただきました。先ほどお話がありましたように、都会では子どもたちがスポーツをする場所があっても、順番とりが大変だというようなことも聞かれています。その中で、佐藤正俊委員からお話がありましたが、この恵まれている環境を子どもたちや保護者も北秋田市の良いところだと自覚していただいて、ただ自覚するだけでなくそれを活かすようにしていかなければならないと私も思ったところです。</p> <p>それでは進行の方終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
小坂教育次長	<p>津谷市長、大変ありがとうございました。</p> <p>次第の5その他になりますけれども、これまでの案件以外に委員の皆様から何かございますか。</p> <p>なければ、以上をもちまして、令和4年度第2回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

(午後2時50分 閉会)